

# 学テ英語へ要領確認

## 角鹿中(敦賀)皮切り全国予備調査

### 来年度導入「話す」問題も

文部科学省の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)で2019年度から中学3年を対象に英語が導入されるのを前に、円滑な実施に向けた課題を探る予備調査が1日、敦賀市角鹿中を皮切りに始まった。文科省が抽出した全国136校で月内に順次行われる。

(小林真也)

調査は「聞く・読む・書く」を教室で計約45分行い、生徒は選択問題や記述問題に解答する。「話す」はコンピューター室で約15分行い、生徒はヘッドセットを着け、機器から音声で流れる問題に英語で答える。録音した生徒の解答を文科省の委託業者が採点する。学習意欲についての調査も行う。

後、コンピューター室に移動。生徒たちはヘッドセットを着け、緊張した様子で教員から説明を受けていた。

角鹿中では2クラスの42人が臨んだ。教室で「聞く・読む・書く」の問題に解答した予備調査は県内では鯖江

「話す」の調査に臨む生徒たち = 1日、敦賀市角鹿中(棟田崇仁撮影)



中でも30日に行われる。問題と正答例は調査期間終了後に公開される。採点結果は公表されない。各教育委員会で1度行われる。英語調査は来年度から3年